

# 一般質問



△原田議員▽

町民の高齢化が進む中、その消費行動において、身体的、金銭的に厳しくなってきたいます。

特に冬場は足元が悪く、買い物にハイヤー

**問** 買い物弱者を出さないためには

**答** それぞれに合わせた対策を講じる必要がある

を使うという話を聞きます。そんな中、電話注文による配達を中止する店舗が現れたと聞きました。

昨年私が買い物弱者に対し、どのように取り組むのか聞いたところ、その回答は、商工会と連携し担い手の育成、地域経済の活性化に取り組むと言っていました。

今年までに商工会と十分協議したと思いませんので、その内容を聞きたい。

△長屋町長▽

人口の減少、購買力の町外流出等があり、町内商業者は大変厳しい環境にあります。

町としても、商工会と連携し商店との意見交換会を開催しています。また商工会も独自にアンケート調査を行い、問題の把握に努めています。

民需の拡大のためプレミアム商品券への補

助や、店舗整備のための企業振興促進補助等の政策を行っています。またすべての店舗が配達を中止したわけはありません。買い物弱者といわれる方も、他の店に移る等、対策を講じていただきたい。商売は各店舗の努力が必要で、ただ町が応援できるところは、応援していきたい。

△原田議員▽

一昨年も地域活性化について質問しました。しかし現状を維持するだけでも大変難しい事です。つまり将来的には買い物者が出ると想定されます。

出さないために、行政としてどんな事ができるのか。今から検討していくことが大事だと思いが。

△長屋町長▽

買い物弱者といっても、各自状態は異なると思う。例えば、重い荷物

は持って帰れない、外販車があれば買えるとかです。

対策として、バス・タクシー券の発行増などがあると考え。公共交通機関を利用し、店舗に行く。荷物は配達してもらう。などが考えられる。

つまり一律に買い物弱者対策を考えるのではなく、そのケースに合わせた対策を考える必要があると思う。

△原田議員▽

今後町内の高齢化率は高くなってくる。そうになると、自助・共助・公助が必要となる。

公助が必要となつてから対策を考えるのではなく、今から買い物弱者対策を考えるべきではないのか。

△長屋町長▽

買い物者といわれる人を出さないよう、行政として支援していく方向で考えていきたい。

